

令和5年度 第4回中津江グループホームなごみ運営推進会議議事録

実施日時	令和 5 年 10 月 19 日（木） 14:00～15:00
場所	萩市総合福祉センター
出席者	別紙参照
前回からの継続課題	・ 無 ・ 有
	内容： 特になし
はじめに	・ グループホーム（以下 GH）管理者より挨拶。 なごみでの災害訓練後にも様々な意見いただいた。 今回の運営推進会議では、萩市の災害拠点である萩市総合福祉センターの役割や機能、災害時での避難場所や備蓄等について学ぶ機会と見学会を行うこととした。 有事の際には、早期の情報収集を行いながら、なごみ利用者の方を安全かつ適切に対応できるよう、日頃からの災害に対する知識や備えが大切だと考えている。家族や地域の方、行政にも引き続きご理解ご協力いただきたい。
防災について	萩市総務部防災危機管理課地域防災マネージャーより、以下内容について講義いただいた後、見学会を行う。 ① 総合福祉センターの役割と機能について ② 萩市の防災対策について ③ 防災の基礎知識と備え ④ 避難所、備蓄庫、屋上の見学          萩市総合福祉センターの役割として、平時では市民が集う場所として、生きがいづくりや健康づくり、ボランティア活動の拠点となって

		いる。また、福祉関係の窓口を集約しており、様々な相談や支援を行っている。 有事（津波や洪水等による危険が切迫した状況）の際には、住民等の生命の安全確保を目的として『施設指定緊急避難場所』として、住民等が緊急に避難する場所となっている。事前避難所としての機能もあるが、自主避難の場合には「食料や水、寝具」は各自での準備となる。 災害時での食品備蓄として、萩市では避難者想定 20,810 名×3 食×3 日分＝18 万 7290 食分（総合福祉センターでは 2 万 5,000 食分）を備蓄庫にて保管してある。 天候や災害種類、規模に応じて、適切に判断しながら避難することも大事だが、事前に想定される災害に対して準備や備えをしておく必要がある。
質問・助言・要望等	GH なごみ	・ 防災情報について様々な端末（パソコンやテレビ、ラジオ、スマホ等）を使用しているが、ツールやアプリで使用しやすいものがあれば教えていただきたい。 （GH なごみ管理者） →萩市総合アプリ「はぎなび」では、避難場所やハザードマップの確認だけでなく、外部防災サイトへのリンクも可能なので、使用しやすいのではないか。 （危機管理課地域防災マネージャー） →「防災やまぐち」のサイトでは、萩市だけでなく県内の気象状況や災害情報を確認できるので、情報収集する上では非常に役立つ。 （萩市高齢者支援課） ・ 総合福祉センターを利用することはあるが、様々な充実した設備や 3 階の防災に関わる機能や役割について、初めて知ることが出来た。 （利用者家族）
次回会議までの継続課題		・ 特になし
備考		次回：令和 5 年 11 月 16 日（木）14:00 開催予定 開催場所：萩市中津江 1 区公会堂